

# 神奈川新聞社杯争奪戦

12/6(水) 7(木) 8(金) F1 ナイター 開催 川崎スポーツ



## レース展望

12月6日からの川崎競輪はF1ナイター。S級もA級も中部近畿から遠征勢が参加するあっせんとなる。バンク改修後に開催が再開してから2ヶ月が経ち、徐々にバンクの特徴も明確になってきたところ。S級のトップレーサーの走りに注目していきたい。

S級戦の主役は地元の小原太樹(神奈川95期)。地元戦には強く優勝に期待したいところ。南関の機動型はやや手薄だが、当地との相性は良い近藤隆司(千葉91期)や渡辺雅也(静岡117期)の頑張り次第となるか。キメ脚シャープな鈴木裕(千葉92期)や近藤保(千葉95期)らも流れひと

つで優勝争いに食い込んでくる。北日本勢は大森慶一(北海道88期)が中心で、菅田壺道(宮城91期)の仕掛けに乗って直線で突っ込んできそう。関東勢の軸は武田豊樹(茨城88期)となるが、機動型が少なく苦戦を強いられそう。予選から山田雄大(埼玉117期)が勝ち上がれば戦力はアップしそうだが、武田自ら自在に戦うことも十分にありそう。遠征勢は中部から竹内雄作(岐阜99期)と吉田敏洋(愛知85期)が参戦。グレードレースで豊富な経験を持つこの2人が中心となる。近畿勢は戦力が充実。福永大智(大阪113期)や中釜章成(大阪113

期)の機動型に加え、自在な畑段嵐士(京都)、キメ脚鋭い椎木尾拓哉(和歌山93期)や松村友和(大阪88期)らが揃う。

A級戦は仁藤秀(静岡117期)が南関の中心。東北勢はやや戦力不足も流れ次第でキメ脚鋭い工藤政志(青森84期)の浮上も。土屋壮登(埼玉101期)を筆頭に加藤将武(埼玉121期)や浮島知稀(群馬123期)らの若手も揃う関東勢は強力。遠征勢は神田龍(三重105期)や伊藤成紀(大阪90期)らのS級でも活躍してきた経験豊富な機動型が揃って優勝争いは激戦。

桜花賞V実績ある小原太樹が中心

S級 主力選手



**小原太樹** 神奈川 95期

長年上位で活躍する地元の小原太樹に期待したい。過去にG1決勝に2度進出して確定板にも載っている。地元記念の桜花賞も制覇するなど、要所で発揮する勝負強さが持ち味だ。目標が無ければ自力含みの走りも可能だし、安定感のある追い込み選手。ホームバンクで普段以上の実力を発揮する。

S級 主力選手



**大森慶一** 北海道 88期

切れ味抜群な差し脚を持つ北日本の中心選手。特筆するような大きな実績は無いものの、トップクラスのスピードに順応しつつ鋭い追い込みを見せる。穴党ファンには馴染みの深い選手。多少位置が悪くても突っ込んで来れるので、ゴール前まで目が離せない。車券の軸として欠かせない選手だ。

S級 主力選手



**福永大智** 大阪 113期

今期は久々の優勝を決めるなど、充実一途の機動型。以前よりは先行回数は減ったが、鋭いダッシュから繰り出すカマシ、捲りの威力は抜群だ。無理駆けが減ったぶん頭から狙い易い印象になったが、ペースが緩めば思い切った走りをするのも十分にある。連日中近ラインの軸としてフル回転。

A級 注目選手

**仁藤秀** 静岡 117期



持ち味のダッシュ力を生かした自力を基本に、安定した走りを見せる仁藤秀。以前と比べて長い距離も踏めるし、前々へ意識した組み立てで成績もアップ。来期はいよいよ初のS昇級も決まっている。別線に強力な機動型も揃うが、南関ラインの先導役として頼もしい存在。来期に向け弾みを付けたい。

A級 注目選手

**神田龍** 三重 105期



今期は久しぶりのA降級となった神田龍だが、S級でも勝ち星を量産していた脚力は健在だ。ムラはあるが自分のタイミングで仕掛けられた時の機動力は抜群で、長い距離もしっかり踏める。別線にかき回されるともろさを露呈する場面もあるが、脚力では今シリーズトップクラスと言って良さそう。

### 対馬太陽神奈川選手会支部長に聞く川崎新バンクガイド



バンクやスタンドの改修が行われた川崎バンクは、かなり特徴に変化が見られそう。ホームバンクの南関東地区本部長でもある対馬太陽選手(神奈川85期)に聞くと「バンクがきれいになり、走路のガタツキが取れて、クセも無くなり走りやすくなった。あとはホームの向かい風が少し強く感じるようになった気がします」と話す。同じ南関東地区なら、平塚や静岡競輪場に近付いたイメージで最初は予想してみたい。

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル